

ごあいさつ



2003年のヨーロッパでの猛暑や日本の冷夏、2004年は逆に日本が猛暑に見まわれるなど世界中で異常気象が観測されています。原因はさまざまな事象が重なり合っており、一概には申し上げられませんが、このような異常気象が報道される度、私は切実な問題として環境保全への対応を考えています。

これからも我々が将来にわたって地球上で生存していくためには、地球環境への負荷低減を進めることはもちろんですが、我々が将来の地球のあるべき姿を意識し、着実にできることから手をつけなければならないと考えています。

F D Kグループは、我々の事業活動が地球環境と密接に関わっていることを深く認識し、環境問題に対する対応が経営の重要課題と捉え、経済の発展と環境保全の両立を図った持続可能な社会の実現を目指しています。このような認識のもとで研究開発の段階から、より環境へ負荷の少ない新製品と生産プロセスの開発を行っております。また、製品に関するものばかりでなく事業全般にわたる環境負荷低減を推進するとともに、環境測定・分析、環境施設の設計施工、コンサルティング事業やリサイクル事業などを営むグループ各社の活動を通じて、環境保全と環境問題の解決に貢献しています。さらに、こうした基本の取り組みとともに、環境保全に役立つ商品の開発も積極的に進めています。

昨今、企業は健全な地域社会があつてこそ、健全な発展を遂げることができるという認識が高まってきています。企業もまた、社会のなかで、そして自然のなかで生かされているのです。よりよき社会をつくり、豊かな自然を育てるために、F D Kは、自然保護に関する広範な社会支援活動を継続的に行なっておりまいた。

本報告書を通じ、こうした理念に基づいた当社の環境保全の活動をみなさまご理解いただければ幸いです。

私はF D Kの経営責任者として、次世代の子どもたちが自然の恵みをいつまでも享受できる持続可能な新しい社会システムの構築を目指して、率先して貢献を続けてまいりたいと考えております。

F D K株式会社
代表取締役社長

杉本俊春